

福島第一原子力発電所1/2号機排気筒解体 (遠隔解体の実証試験(モックアップ)について)

2018年9月6日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1. 進捗状況

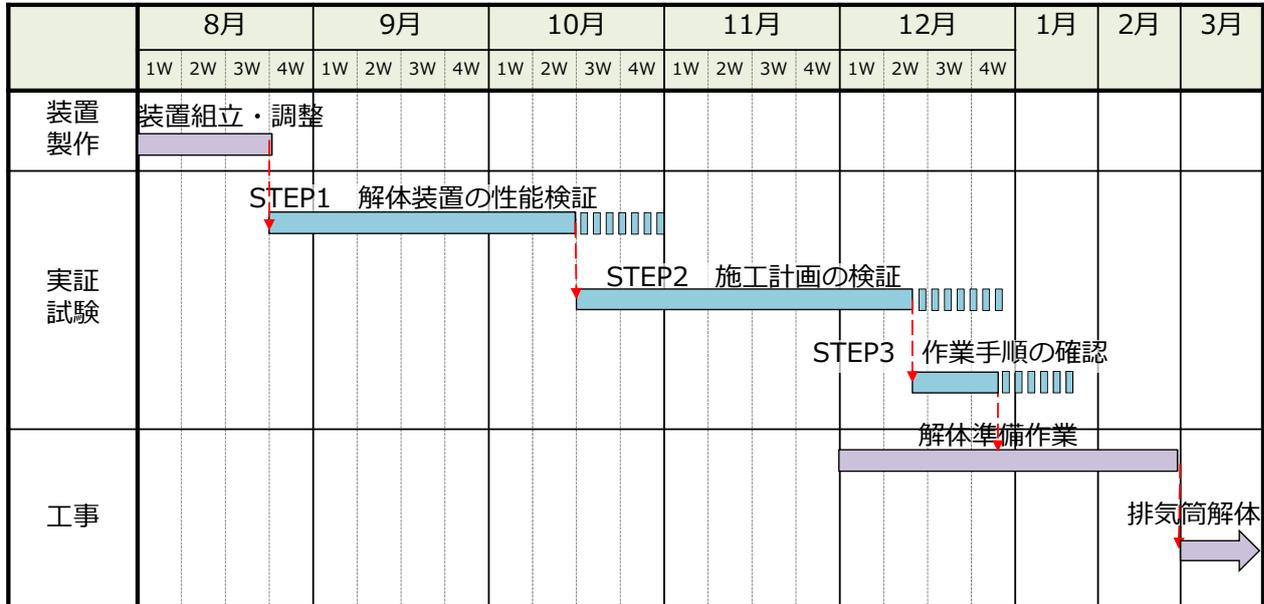
TEPCO

- 遠隔解体の実証試験を8月28日に着手した。
- 写真は、クレーンにて筒身解体装置を排気筒に据え付ける際の目視確認用カメラ位置の調整を行っている状況。



実証試験実施状況 (STEP1 解体装置の性能検証)

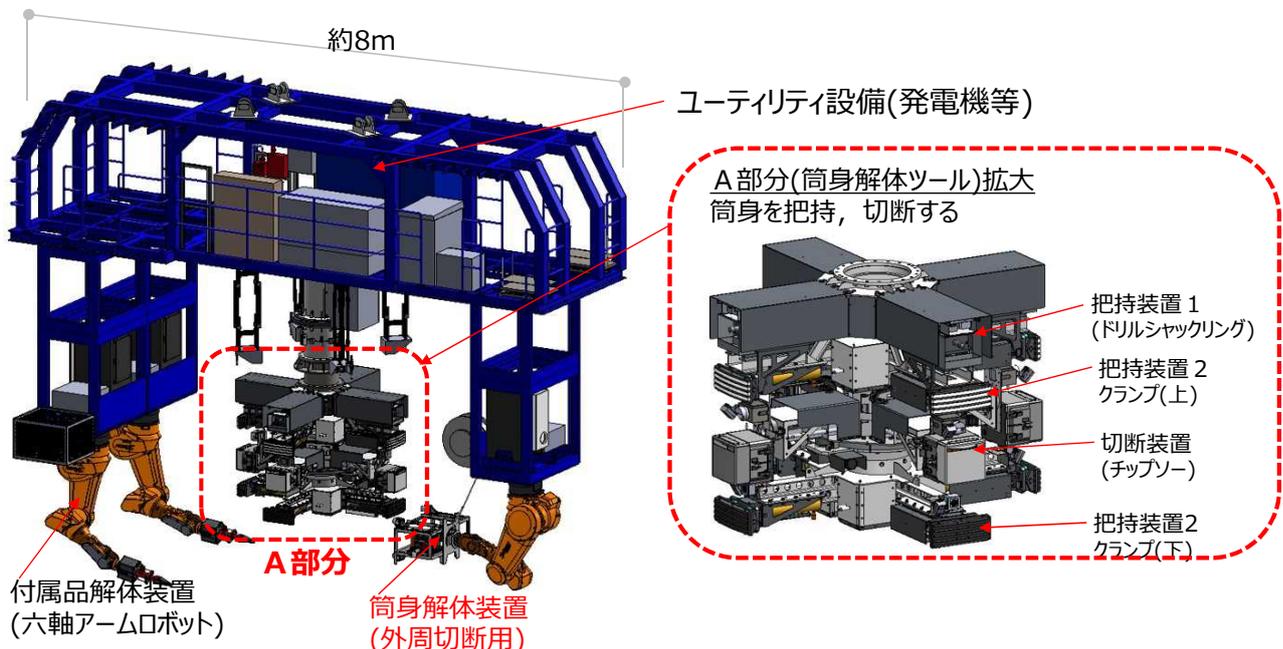
- 排気筒の模擬体を使用した解体装置の性能検証作業を進め、10月より実際の解体作業を模擬した施工計画の検証(作業手順や所要時間等)を行う予定。
- 実証試験では各STEPで装置・作業の安全性を着実に確認しながら、次STEPに進む計画。
- STEP2の施工計画の検証を行った上で、排気筒解体工事の工事工程を最終確定する予定。
- 2018年12月より、福島第一構内での準備作業(周辺設備養生・解体装置の組立等)に着手する計画。



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

参考 1. 装置概要 (筒身解体装置)

- 筒身解体装置は、筒身解体ツール(下図のA部分)を筒身内に差し込んで、2種類の把持装置により把持・固定する。
- 筒身は、筒身内部よりチップソーにて切断する。
- 筒身切断時に干渉する付属品(梯子など)は、六軸アームロボットにより撤去する。
- 飛散防止剤は別装置にて散布する。



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

参考2. 装置概要 (鉄塔解体装置)

- 鉄塔解体装置は、筒身解体ツール(下図のA部分：筒身解体装置と同じ)を筒身内に差し込んで、2種類の把持装置により旋回台(クロスハンガーユニット)を固定する。
- 旋回台の四隅から吊り下げた切断/把持装置により、支柱材および斜材を把持して切断する。
- 対象部材(支柱材, 斜材)に応じ、先端アタッチメントを取り替える。

